

<p>研修名</p>	<p>自殺対策支援者研修「うつ病の早期介入と自殺予防」 ～「メンタルヘルス・ファーストエイド」の理解と活用～</p>
<p>講師</p>	<p>九州大学 大学院医学研究院 精神病態医学分野 准教授 加藤 隆弘 先生</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和5年10月24日(火) 14:15～17:15</p>
<p>開催場所</p>	<p>総合保健福祉センター(アシスト21)2階 講堂</p>
<p>参加者数</p>	<p>40名(職種:保健師、看護師、介護支援専門員、心理士、社会福祉士など)</p>
<p>研修内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種相談窓口や機関において相談支援に従事する人に対し、「メンタルヘルス・ファーストエイド(こころの応急処置)」を紹介し、さらに相談支援の現場においてうつ病など心の不調を抱えている人への対応について解説しました。 ・参加者は、「メンタルヘルス・ファーストエイドとは何か」や、うつ病などの疾患について説明を受けたのち、演習形式(ロールプレイ)で「傾聴」や「メンタルヘルス・ファーストエイドに基づく対応法」を体験しました。 ・ロールプレイでは積極的に意見交換をする姿が見られ、活気にあふれた研修となりました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・とても分かりやすかったです。事業所内でも活用できたらと思います。 ・「りはあさる」を実践で活かしていきたいと思いました。 ・とても良い学びとなりました。 ・今後も加藤先生の研修に参加したいです。 ・死にたい気持ちの確認の仕方や、安心につながる情報の伝え方を具体的に知ることができ、勉強になりました。 ・傾聴を心がけたいです。 ・うつ病が疑われる相談者の方に、自信を持って対応できるようになったと思います。